

# 2025 年度第 3 回ふれあい講座実施報告

## 実施日時

2025 年 10 月 17 日(金) 19:00~20:30

場所 JICA 沖縄体育館

来場者数 114 名 (一般 50 名) (ゲストスピーカー研修員 23 名) (他コース研修員 37 名) (関係者名 4 名)

## JICA 研修員(出身国)

### 沖縄ルーツの再認識を通して学ぶソフトパワー活用と地域活性化 (7 カ国 13 名)

Ms. フェル、ミミ、Mr. ギジェ (アルゼンチン) / Ms. ブルナ (ポリビア)

Ms. バネッサ、ユリ、ティエミ、Mr. ジュン (ブラジル)、Ms. カテリーン、Mr. ルイス (コロンビア)

Ms. ミランダ (キューバ) / Ms. キミ (メキシコ) / Mr. ヨシナリ (ペルー)

### 沖縄空手文化研修 (5 カ国 10 名)

Mr. ワルテル (ポリビア) / Ms. ダニエリ、ティアラ、Mr. セリ、ビニシウス、イゴル、エルー (ブラジル)

Mr. イサック (コロンビア) / Mr. ミノル (ドミニカ共和国) / Mr. ケン (メキシコ)

## 当日の様子

今年度最多となる 13 名の研修員の皆さんをゲストスピーカーに迎え、さらに驚くことに、他コースの研修員もゲストスピーカーの人数を上回るほどご参加いただきました。

まずは参加国の紹介に続き、日系移民に関する選択式クイズに挑戦！

「Q: 日系移民と聞いて、どのようなイメージがありますか？」

という問いに対し、参加者が QR コードを読み取り入力した意見が、その場でリアルタイムに共有されるという新しい手法が導入され、大変新鮮な取り組みとなりました。

ふれあいタイムでは、インタビューシートを使って研修員の方々と交流。

今回は研修員の人数が多く、JICA コーディネーターのお 2 人に加え、浦添市国際交流員のジェyson さん、浦添市南米子弟研修生のバレリアさん、フェルナンダさん、さらに那覇や北谷に在住する外国人 3 名も通訳ボランティアとして参加してくれ、市民と研修員の会話に入り、円滑な交流の手助けをしてくださいました。

他コースの研修員同士がインタビューシートを片手に交流する姿もあちこちで見られ、誰もが気軽に会話を楽しめる、温かな雰囲気が会場全体を包み込んでいました。

各国ブースでは、研修員が母国から持参したマテ茶やクッキー、キャンディー、ピーナッツ菓子などが振る舞われ、異国の味を体験することができました。

お待ちかねのパフォーマンスタイムでは、「沖縄空手文化研修コース」の研修員全員による「型」「サイ」「組み手」「板割り」の演武を披露。ブラジルのダニエリさんが、体格の大きな男性陣を相手に、護身術さながらに次々と倒していく演舞は圧巻でした。

迫力満載の「板割り」では、一突きで瞬く間に板が割れる様子に、会場から大きな歓声が上がりました。

最後は、「沖縄ルーツの再認識を通して学ぶソフトパワー活用と地域活性化コース」皆さんによるエイサー、三線、ギター、タンブリンを用いて「島人の宝」を演奏し、会場からは「イーヤーサーサー」という掛け声や指笛が自然に沸き起こり、来場者と演奏者が一体となって合唱する姿も見られました。

ブラジルの「カポエラ」も披露され、小学生の男子が「ダンスのようでかっこいい」「回し蹴りを上手に避けて、高く素早く蹴るところが最高！」と目を輝かせて感想を話してくれました。

他にも、サルサダンス、ペルーのインカ文化を思わせる民族ダンスなど、次々と披露されるパフォーマンスに研修員の皆さんが飛び入り参加し、会場は大いに盛り上がりました。

参加して下さった研修員の皆さんに感謝しながら、集合写真の撮影を行い、名残惜しくも閉会の時間となりました。

次回は 12 月 12 日(金) 19 時から開催です。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

